

Oral Presentation

📅 Thu. Aug 7, 2025 9:00 AM - 10:20 AM JST | Thu. Aug 7, 2025 12:00 AM - 1:20 AM UTC 🏢 S302(South Bldg, 3F)

[SS-13] International Strategy Driver: How Optimizing International Operations to Change the Future of Universities

◆ Japanese Presentation

9:00 AM - 10:20 AM JST | 12:00 AM - 1:20 AM UTC

[SS-13-01] International Strategy Driver: How Optimizing International Operations to Change the Future of Universities

*山田 哲也¹、*南野 翔¹ (1. 株式会社早稲田大学アカデミックソリューション)

Keywords：業務委託、業務効率化、国際化推進

受講者に求められる 事前の知識・経験等

大学で国際交流・留学業務のご経験があることが望ましいですが必須ではありません。

受講者が受講前に取り組む 事前課題等

なし

概要

多くの大学が留学や研究の活性化、国際系学部設置といった国際化戦略を打ち出す中で、次に問われているのは「どのように実行体制を整え、戦略を現場で動かすか」です。いま、“実行力の設計”が注目を集めています。どれほど先進的な施策であっても、それを支える運営体制がなければ実現には至りません。戦略と現場をつなぐ“国際業務の仕組み”こそが、国際化の成否を左右するのではないのでしょうか。

本セッションでは、国際化を加速したい大学に必要な「実行力ある国際業務の運営体制」に焦点を当て、業務の見直しや人材活用の視点から、現実的かつ持続可能な体制のあり方を考えます。

また、参加者のみなさまが所属する大学における国際業務を可視化し、属人化・分断化・過負荷といった構造的な課題が何かを出し合い、学内のリソースだけでは補いきれない部分に、外部との連携や専門人材をどう活用できるかを共有し、明日からの改善につながる視点を獲得の機会とします。

本セッションの後半では、国際交流業務支援を担う大学関連会社が、業務委託によって“推進体制”を再構築した事例をご紹介します。大学間の競争が増し、大学の国際化や業務の高度化・変革が求められている高等教育の現場で、限られたリソースでも成果を上げるための現実的なアプローチをお伝えします。

大学の国際化を推進するためには、戦略と現場をつなぐ“国際業務の仕組み”＝“現場を動かす力”が必要です。持続可能で戦略的な国際化体制づくりを、この機会にぜひ一緒に考えましょう。

